

公立森町病院 新病院開設20周年記念講演会



PROFILE 内藤 いくみ 先生

- 昭和31年生まれ
- 福島県立医大卒業
- 甲府市在住
- ふじ内科クリニック 院長

進行がん、末期がんの人の人生を支える在宅ホスピスケアを30年以上実践している内科医である。地域の高齢の方の終末期も支えている。

80年代にイギリスで学んだホスピスケアを日本に紹介し、日本の文化に根付いた死生観を構築し、がんになっても高齢になっても幸せに生き、幸せな最終章を過ごせる社会になれるように、山梨県での在宅ホスピスケアの実践(家での看取り)と、啓発に献身している。

全国や山梨県内での講演は1000回近いものに及び、専門職だけでなく、一般の方々、また、中学生、高校生、大学生にもいのちについて、ホスピスケア、地域での終末期のいのちの支え方について伝えている。

啓発の一環として、いのちに関する著書も多い。

日本ホスピス在宅ケア研究会の理事を20年近く務め、15年近くホスピス在宅ケア研究会やまなしの代表として、地域で一般市民へ声をかけて、定期的に学習会を開催している。

山梨県青少年協会理事長として、青少年の健全育成にも貢献している。

2016年11月、知事よりまなし大使の任命を受けた。

長年、永六輔さんと親交があり全国へ2人でいのちの講演に出かけた。

【著書】

- ・最高に幸せな生き方と死の迎え方(オフィス エム)
- ・いのちの不思議な物語(佼成出版)
- ・いい医者 いい患者 いい老後(永六輔氏と共著 / 佼成出版)など多数



ご挨拶

公立森町病院院長

中村 昌樹

今年の3月で、公立森町病院新病院開設から20年が経過しました。この20年間当院を支えて下さった多くの皆様から感謝申し上げます。

さて、このたび新病院開設20周年を記念して、在宅ホスピス医としてご活躍されている内藤いくみ先生をお招きし、講演会を開催することとなりました。内藤いくみ先生は、著書やテレビ出演も多く、医療関係者だけでなく一般の方からも大変人気のある先生です。以前私が院長に就任したばかりの頃に、在宅医療講演会で森町にお越しいただいたことがあり、当院にとってもご縁のある先生です。私もそのときに、先生から在宅ホスピスケアのこころを学ばせていただきました。

その後13年間、当院も在宅医療に取り組みながら、地域の必要に応えるために、自治体立中小病院としての役割を模索し、地域医療のシステム構築を行ってまいりました。当院の在宅医療についての取り組みは、退院支援の強化、在宅医療の担い手としての家庭医の養成、在宅医療コーディネーターの育成、在宅医療をバックアップする入院機能の構築、他職種連携の推進などがあります。

医療というシステムは、人と人との関わりから生まれる力を引き出す仕組みであり、心の通ったものではなくはなりません。今回の講演会が、医療関係者にとっても一般の方々にとっても、医療との関わり方や人の生き方について振り返るきっかけになることを願っています。多くの皆様のご参加を期待しています。



- 東名高速道路「袋井I.C」から 車で約20分
- 新東名高速道路「森掛川I.C」から 車で約6分
- 「遠州森町スマートI.C」から 車で約6分
- 天竜浜名湖鉄道「森町病院前駅」から 徒歩1分
- バス利用の場合(病院内バス停あり)
 - 静岡鉄道: 秋葉中遠線・遠州森町行き 袋井駅前~森町病院
 - 秋葉バスサービス: 秋葉線・気多行き 袋井駅前~森町病院
 - 磐田線・遠州森町行き 磐田駅前~森町病院